

研究室配属ニュースレター始めます！！

研究室配属のみんなの活動を、参加した人もできなかった人も、みんなでシェアできるようにニュースレターを発行することにしました。初版発行にあたり、公衆衛生学講座教授の小橋元先生にお言葉を頂きました。

今しかできない楽しい経験を！



ニュースレター創刊おめでとうございます！
公衆衛生とは「みんなの幸せをみんなで作ること」です。私たちの公衆衛生活動は「人に喜んでもらうために一生懸命になる楽しい経験」です。研究室配属で皆さんの若い力と瑞々しい感性を思う存分発揮して、今しかできないことを精一杯やりましょう。みんなでたくさん語り合い、人が喜ぶ多くの夢を実現して、一緒に美味しいご飯を食べましょう！
このニュースレターが皆さんの懸け橋となりますことを大いに期待しています。



小橋元教授

小橋先生、ありがとうございます。公衆衛生にかける先生の熱い想いは公衆衛生学講座ホームページからも知ることができます。そんな先生が率いるこの講座の学生たちと、**小さな橋**をたくさん架けていきたいと思えます。

研究室配属チーム名決定！！

この度、今後の研究室配属の活動をより盛り上げるべく、チーム名を作成しました。3つの案からメンバー投票の結果、「**Bird G**」に決まりました！案を作ってくれた3年生メンバーの3人に、このチーム名に込めた思いを聞きました。

私たちは医学研究実習で公衆衛生の研究をし、研究室に入ることになりました。小橋先生にパフィー、阿部先生からはギャルズと呼ばれている3人です。



ここで自己紹介をしたいと思います。ジャニオタの浮所ふみねです♪10月7、8、9日の獨医祭に向けてがんばっていますれいなです♡宇都宮大使ねらってますれい ☆

私たちは壬生町との架け橋になりたいと思い、橋=bridgeから連想しようと考え、Bridge→Birdgeから、Bird-G (Gはグループという意味) が生まれました。これから壬生町と獨協の架け橋となるよう、がんばっていきますのでよろしくお願ひします。目標は壬生町城址公園で単独公演をすることです！

みなさん、ご協力ありがとうございました。とても素敵な名前になったと思います。これからたくさんの橋をかけましょう！！

みぶまち・獨協健康大学 公開講座を開催しました！！



8月28日(月) 14:00~16:00 獨協医科大学教育研修棟で、令和5年度みぶまち・獨協健康大学公開講座を開催しました。今回は、兵庫県豊岡市より、一般社団法人「ケアと暮らしの編集社」代表守本陽一先生をお招きし、先生が長年取り組んでこられた「ケアするまちづくり」についてご講演いただきました。

病院に行くのではなく、地域で楽しくワクワクする活動を広げ、人とのつながりを作っていくことで、自然と住民を「ケア」するまちづくりにつながることを、実際の活動を通して教えていただきました。



現実には病院だけでは解決できない問題がたくさんあります。誰かと語り、笑いあえる場所が地域にたくさんあれば、そんな問題を少しでも解決できるかもしれません。45人の参加者達は、自分たちも誰かをケアすることに期待と嬉しさの表情を浮かべていました。住んでるだけで、自然と健康になっていた！壬生町をいつかそんな町にしたいですね。

公開講座の様子はMicrosoft Streamで10月15日(日)まで配信しています。詳しくは、学生課からのお知らせをご覧ください。

守本先生と懇親会！！



公開講座終了後は「時屋」(おもちゃのまち駅前)で懇親会を行い、守本先生と交流を深めました。自治医大出身の先生にとっては久しぶりの栃木県で、とても懐かしかったようです。学生のころから地域活動に興味を持ち、積極的に活動してこられた先生とのお話は、学生たちにも良い刺激となったことでしょう！先生の姿から何かを学んでくれていたらしいです。今まで交流ができなかった研究室配属の仲間とも、学年を超えて話をする機会となり、楽しい時間を過ごすことができました。これも、楽しみながら「つながり」を作る活動の一つと言えますね。みなさん、参加してくれてありがとうございました！

ライター募集！！

わたしも何か記事を書きたい！という人大歓迎です。自分の好きなこと、趣味、なんでもいいです。ここで自分を表現してみませんか？例えば「野々山のこべや」とか興味深いですよ？

編集後記

学生たちの活動報告の場として、この新聞の発行を決めました。活動に参加した人もできなかった人も、みんなで「Bird G」メンバーの活動を共有し、一緒に楽しんだり、励ましあったり、癒しあったりする場になればと思っています。記事を依頼したときには快く受け取ってもらえとうれしいです。(阿部)

